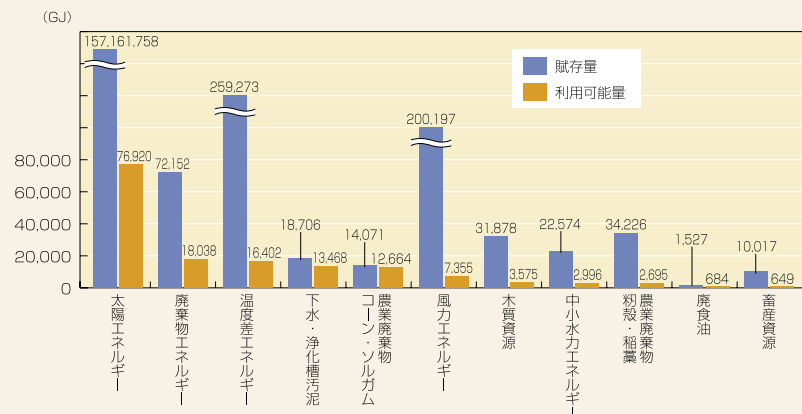


■中央市の新エネルギーの利用可能量



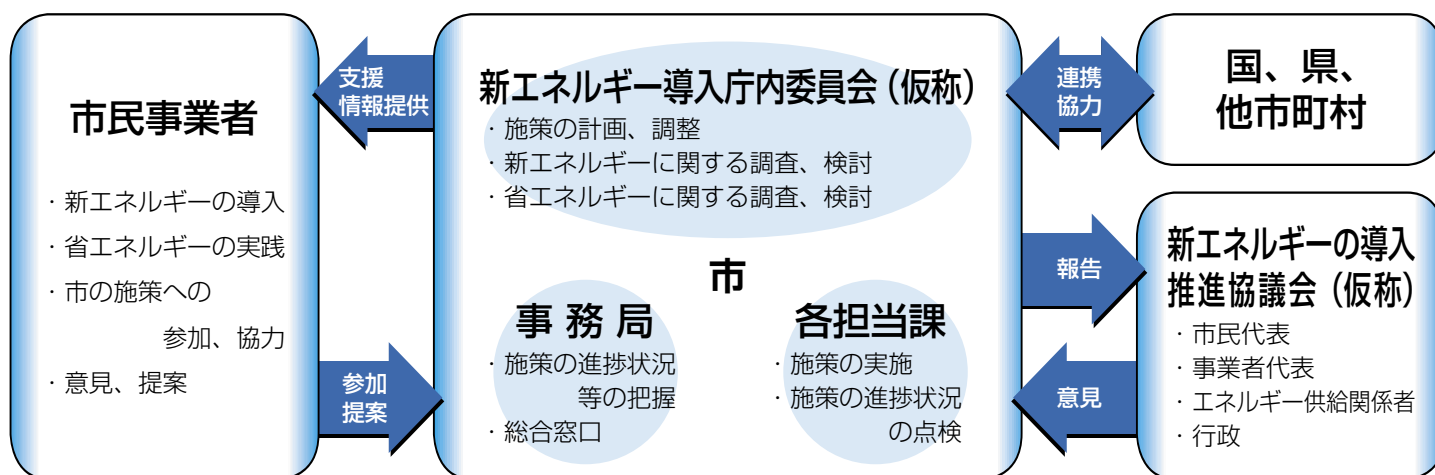
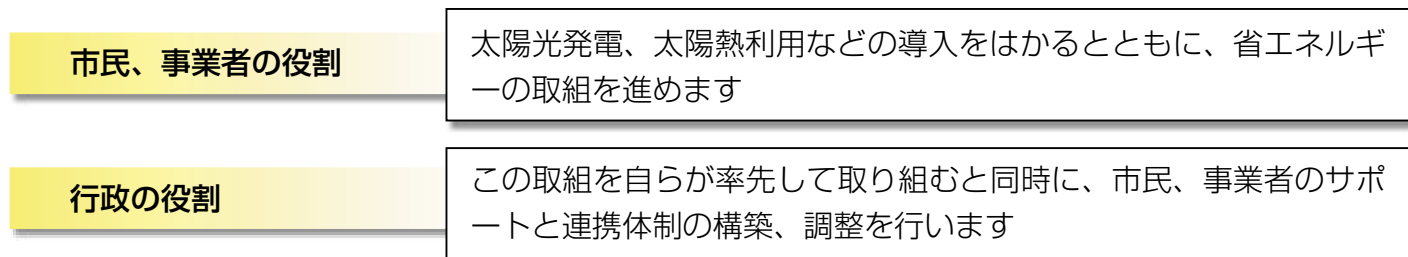
中央市の賦存量（潜在的な資源量）の主なものは、太陽エネルギー、温度差エネルギー（地下水利用）、風力エネルギーなどとなっています。

一方、利用可能（制約条件を考慮した利用可能な資源）なエネルギーは、太陽エネルギー、廃棄物エネルギー、温度差エネルギーなどがあげられます。

当新エネルギービジョンでは、太陽光、温度差、農業廃棄物（コーン等）を中心にエネルギーの利用を進めます。

■推進に向けて

新エネルギービジョンの実現に向け、市民・事業者・行政が一体となって取り組んでいきます。



中央市の市章



表紙のキャッチフレーズの「太陽」は太陽光、「水」は地下水、「緑」はバイオ燃料を示しています。それぞれのプロジェクトは市章の色と結び付け、新エネルギー推進への思いを託しています。

中央市地域新エネルギービジョン

概要版

地球にやさしい生活文化都市
～太陽と水と緑の恵みを活かして～



中央市地域新エネルギービジョン 概要版 平成21年2月

中央市総務部政策秘書課 〒409-3892 山梨県中央市臼井阿原301-1

TEL 055-274-1111 <http://www.city.chuo.yamanashi.jp/>

《新エネルギービジョンの詳細版は、中央市のホームページでご覧いただけます》

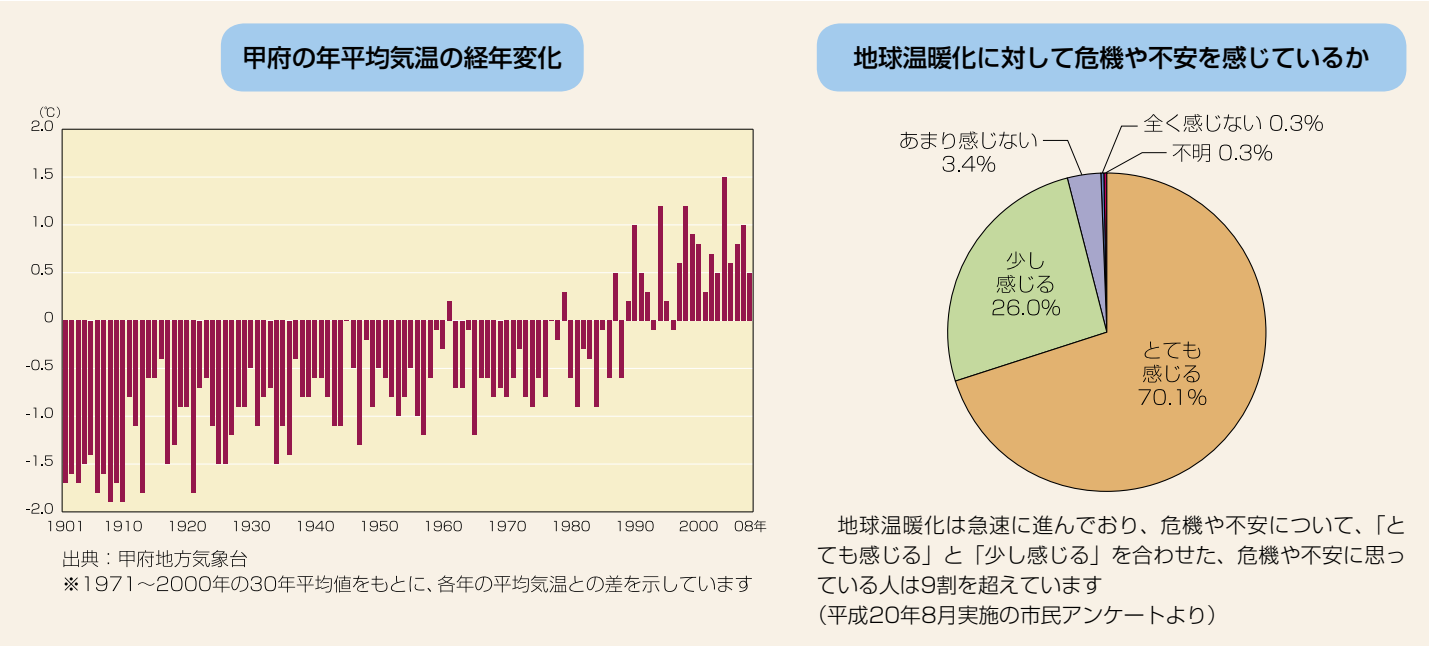
※本調査は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構の平成20年度「地域新エネルギー・省エネルギービジョン策定等事業」の補助により実施しました。

平成 21 年 2 月
山梨県 中央市

■エネルギー資源の枯渇や地球温暖化による自然破壊が心配されています

私たちの生活は、さまざまなエネルギー消費のうえに成り立っています。日常生活の中では、テレビや冷蔵庫、冷暖房機器などの家電製品、給湯器、自動車など、社会の中では、製造業や商業、農林水産業、運輸業など、あらゆる生活の場面、経済活動においてエネルギーが消費されています。そのエネルギー消費の約8割は石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料に依存しているといわれています。

現在のペースで消費が続けば、石油はあと41年で、天然ガスは67年で枯渇すると予測されています。日本は資源輸入国で、エネルギーの約8割を海外に頼っており、自給率が低いことから将来的なエネルギーの確保が課題となっています。また、エネルギー消費の増加にともない、CO₂の排出量も大幅に増加しています。CO₂排出量の増加は地球温暖化の主な原因といわれており、海面上昇や異常気象など生態系に深刻な被害を及ぼす地球規模の問題となっています。



■新エネルギーってなあに？

石油に代わるエネルギーとして石炭、天然ガス、原子力などがありますが、長期的には資源枯渇が懸念されます。そこで、持続可能な再生可能エネルギーの中で、特に導入促進をはかる必要があるものとして、新エネルギーが位置づけられています。熱利用分野として太陽熱利用やバイオマス熱利用など、発電利用分野として太陽光発電や風力発電、バイオマス発電などがあります。

主な新エネルギー

▶太陽熱利用 ……屋根などに設置した温水器等により、太陽の熱エネルギーを給湯や暖房に使います。

▶太陽光発電 ……太陽電池を使って太陽の光エネルギーを直接電気に変換して利用します。

▶バイオマス熱利用 …薪やチップ、木くずや廃材で作ったペレット等をボイラー等の熱源として使います。
また、収穫後の農産物の枝葉や使用済み食用油から自動車燃料を作ったり、家畜糞尿からバイオガスを作ります。

▶温度差熱利用 ……大気と海水や河川水、地下水などの温度差エネルギーを利用して、冷暖房に使います。

▶風力発電 ……「風の力」で風車を回して発電します。

▶バイオマス発電 ……植物や動物の排泄物など生物由来の有機物をエネルギーとして発電します。

▶中小規模水力発電 ……水の位置エネルギーを電力エネルギーに変換します。

中央市は水と緑があふれる自然環境と快適な都市空間が調和した、うるおいと安らぎが感じられるまちです。この生活環境を将来の子どもたちのために残し、持続可能な社会を構築するために、地域の特性に合った新エネルギー導入の具体的方向性を明示し、資源循環型社会の構築をめざします。

基本方針

1. 地域資源を活用した地球にやさしい暮らしづくり

中央市は、日照に恵まれ、地下水位が高く、農地が多くあります。これらの特性を活かした新エネルギーの導入と、省エネルギーの推進を市民・事業者・行政それぞれが積極的に進め、環境にやさしいライフスタイル・事業活動への転換をはかっていきます。

2. 産・学・官・民の連携による取組の推進

各主体の緊密な連携のもと、新エネルギー導入等の取組による循環型社会の形成が進むようそれぞれが協力し、連携の方策、参加の仕組みを構築します。

3. 情報提供、意見交換による普及

新エネルギーに対する理解や関心が市全体で高まるよう、学習機会の提供や情報発信を行い、意見を互いに交換します。



重点プロジェクト

重点的に進める新エネルギー導入の取組の4つの柱（プロジェクト）です

太陽のちからプロジェクト

- 市民・事業者の太陽光発電導入とそのサポート
- 公共施設への太陽光発電の導入
- 公共施設への太陽熱利用ソーラーシステムの導入

水のめぐもりプロジェクト

- 公共施設への地下水利用ヒートポンプの導入
- 事業者による地下水利用ヒートポンプ導入とそのサポート

緑のめぐみプロジェクト

- 未利用農産物からのバイオ燃料製造に関する研究の推進

地球にやさしい暮らしプロジェクト

- 中央市地球温暖化対策実行計画（仮称）の策定
- 小中学校への太陽光発電・小型風車・マイクロ水力発電機の導入
- 市民・事業者のエコアクションポイントへの参加
- エネルギー環境学習教室の開催
- 新エネルギー・省エネルギー総合窓口の設置